

センターからのお知らせ

秋になり、体調の変化はありませんか？

「体調の変化に気がつきました。」「性器の周辺だけでなく、口の中や皮ふがかゆい、痛い、ムズムズします。」など、不安な時は相談して、あなたの状況を話してみましょう。

夜間・休日エイズ電話相談

HIV・エイズを含む性感染症の電話相談ができます。

名前も、住所も年齢もいわなくて大丈夫です。

【水曜日】18:00-21:00(祝日:休み)【土曜日】15:00-18:00(祝日:17:00 まで)

☎ 045-201-8808 (NPO 法人 AIDS ネットワーク横浜が横浜市から委託されています)



Act Against AIDS からポスターが届きました！



NO1. エイズってなに？



NO2. HIV に感染したら？



NO3. 日常生活では HIV に感染しない



NO4. HIV 感染のほとんどが性的接触

8 月下旬、Act Against AIDS (AAA) から 4 枚のポスターが AIDS 市民活動センターに届きました。

早速センターに掲示をしました。

AAA の活動は、7 月 20 日をもって終了していますが、世界エイズデー前日・11 月 30 日まで 4 枚のポスターを HP で公開しています。ぜひご覧ください！

詳しくはこちらへ→

<https://www.actagainstaids.com/aids/>

センター利用制限のお知らせ

新型コロナウイルスの感染防止拡大のため、9 月現在、センターの一部施設貸出（ミーティングスペース・コピー機・印刷機）は行っていません。ポスターや啓発グッズ、図書の貸出は事前予約となります。新型コロナウイルス感染拡大状況によって利用が変わります。ご利用の際は、事前にお問い合わせください。

HIV・エイズ、性感染症の正しい知識・最新情報をわかりやすく解説！

おーぷん

URL <https://yaaic.gr.jp/>



発行:横浜 AIDS 市民活動センター
公益財団法人横浜 YMCA が横浜市から事業を受託しています。
〒231-0015 横浜市中区尾上町 3 丁目 39 番地
尾上町ビル 9F / TEL:045-650-5421 FAX:
045-650-5422 / E-mail:info@yaaic.gr.jp
平日:13:00~20:00 / 土・祝:10:00~17:00
休館:日 / 火
監修:横浜市健康福祉局健康安全課

特集 2019 年 世界の HIV・エイズの現状について

コムちゃんからの手紙



みなさん、こんにちは！
横浜 AIDS 市民活動センター公式マスコット・コムちゃんです。

酷暑が過ぎ去ろうとしています。
コムちゃんは手を石けんで丁寧に洗うことを自分の新しい生活様式として身に付けました。
みなさんはどうでしょうか？
マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保、部屋の換気などの対策に対して、気疲れしている人もいます。
そのような中でも、みなさんが自分の生命を最優先に考えて生活していくことがコムちゃんには大切だと思います。
医療従事者や新型コロナウイルスに感染した人に対して、差別や偏見の目をむけることは、心のソーシャルディスタンスを広げてしまいます。
リスクはゼロになりませんが、一緒に知恵を出し合って、自分自身が今できることを考えてみましょう！

コムちゃんより



第 27 回 AIDS 文化フォーラム in 横浜が終了しました！

日時:2020 年 8 月 7 日 (金) ~ 9 日 (日) 10:00-17:30

開催方式:オンライン (ZOOM)

初めてのオンライン (ZOOM) 配信で、17 講座が開催されました。

日本と海外合わせて 4000 人を超える人々が、パソコンやスマートフォンから参加しました。

当センターでは横浜 AIDS 市民活動センターの活動紹介を行いました。



特集 2019 年 世界の HIV・エイズの現状について

世界の現状

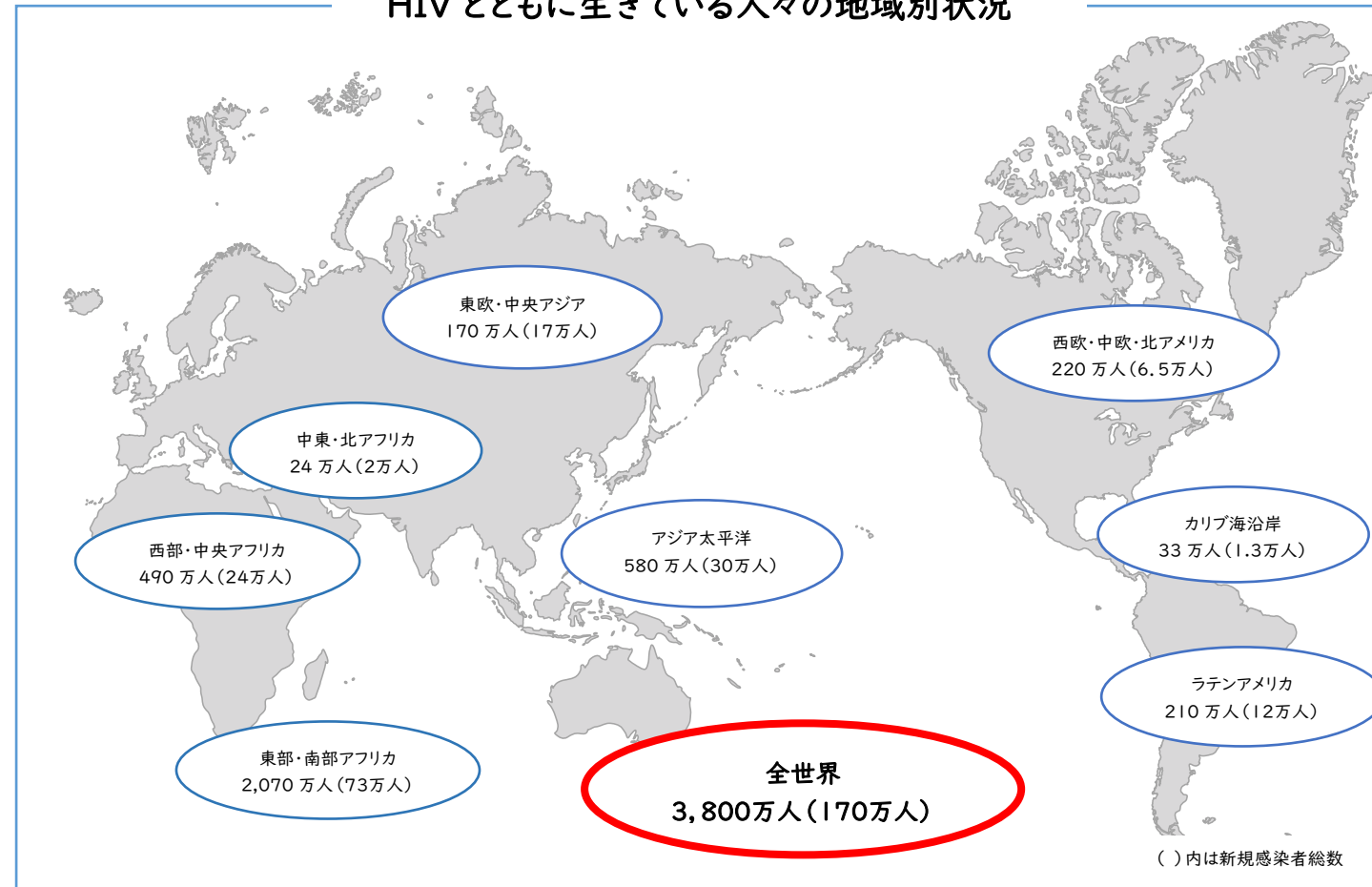
治療薬の普及拡大により、HIV 感染者数は減少傾向にあります。

2020 年、新型コロナウイルスの世界的流行により、ロックダウンや国境閉鎖が起きたことから、抗 HIV 薬が感染者の手元に届くことが難しくなりました。供給量が減少したことから薬が高騰しました。

6 カ月間 HIV の治療を完全に止めると、50 万人以上がエイズ関連の疾病で亡くなる可能性があるとの推計されています。

HIV 感染者にとって、抗 HIV 薬は生きていくうえで不可欠です。社会的に弱い立場の人々にも公平に医療を提供し、コロナ禍でも人権問題に取り組んでいくことが求められています。

HIV とともに生きている人々の地域別状況



女性とエイズ

- ・毎週、およそ 5,500 人の若い女性 (15-24 歳) が HIV に感染しています。
- ・全世界で 3 分の 1 以上 (35%) の女性が、生涯に親しいパートナーから肉体的・性的暴力、またはパートナー以外から性的暴力を受けています。

HIV とともに生きている人々は 3,800 万人

成人 3,620 万人 15 歳未満の子ども 180 万人



自分の感染を知らない人は約 19% います。

新規 HIV 感染した人々は 170 万人

成人 155 万人 子ども 15 万人



HIV の治療を受けている人々は 2,540 万人

2009 年 640 万人 2019 年 2,540 万人



成人の 68% は治療に結び付くが、治療に結び付く子どもは 53% でした。

HIV に関連する死亡者

2004 年 170 万人 2019 年 69 万人

参照: UNAIDS ファクトシート 2020
GLOBAL AIDS UPDATE 2020

… 国際機関の保健活動 …

WHO (世界保健機構)

WHO は、1948 年 4 月、国際連合の中で保健衛生分野を受け持つ目的で設立されました。国際保健の分野でリーダーシップを発揮し、保健に関する研究課題を作成し、規範や基準を設定する役割があります。加盟国へ技術支援や保健状態の監視や評価を行ったりもしています。国境を越えた健康危機に各国が備えることができるように協力しあっています。

UNAIDS (国連合同エイズ計画)

UNAIDS は、1996 年以来 HIV/エイズ感染に対して、新たな感染を減らし、エイズ感染は対処可能で、慢性的な症状であることを証明する重要な役わりを果たしています。2030 年までに、感染ゼロ、差別ゼロ、エイズ関連死者ゼロの共通ビジョンを達成できるよう世界を導いています。

UNICEF (国連児童基金)

UNICEF は、1946 年、第二次世界大戦によって、荒廃した国々の子どもたちに緊急食料支援と健康管理を行う目的で設立されました。現在「子供の権利に関する条約」を活動指針とし、もっとも恵まれない、取り残された子どもたちや家族、共同体に焦点を合わせ、すべての子どもが持つ生存、保護、発展の権利を保護しています。緊急事態には子どもたちを保護する環境を作り、かつ暴力や搾取、虐待から子どもを守る活動をしています。

参照: 国際連合広報センター HP